

ミニ企画展コーナー

さくらの絵画展

～ごあいさつ～

熊谷の春は、“さくら”からはじまります。

熊谷の“さくら”は江戸時代から世に知られ、数多くの歴史物語を持っています。

かつて桜堤は、石原から鎌倉町をとおり現在の万平公園を結んでいました。明治16年(1883)の鉄道開通にあわせて450本の桜を植え、その後、桜樹の育成に努力し、昭和2年には花の名所として国の「史跡名勝天然記念物」に指定されました。(昭和33年〈1958〉解除)昭和16年に新堤ができ、この旧桜堤はその後崩されましたが、現在でも万平公園にその面影を見ることができます。

昭和27年(1952)、荒川新堤に市制施行20周年を記念し、ソメイヨシノが200本植えられ、その後、熊谷さくら祭も始まりました。そして度々の補植と育成の努力によって、見事な桜の花のトンネルを見ることができるようになりました。平成2年(1990)には、(財)日本さくらの会より「さくら名所100選」に選定されました。

さらに、桜の品種として、熊谷直実の数々の先駆けにちなんで名付けられた「熊谷桜」もあり、“さくら”と熊谷とは切っても切り離せない縁があります。

今回のミニ企画展では、熊谷市の花でもある“さくら”について、熊谷ゆかりの作家が、さくらの名所を描いた作品を展覧いたします。

桜堤だけではなく、市内各所で春の訪れと共に咲き誇る“さくら”を、日本画、油彩画、水彩画の作家がそれぞれの手法で描き、“さくら”の持つ美しさ、はかなさ、幻想性を見事に表現しています。

今回展をとおして、改めて“熊谷の春”を感じていただくとともに、それぞれの作家の“さくら”に対する思いや、絵画に対する情熱についても感じていただければ幸いです。



株立ちの桜 清水信二 油彩画



万平公園 江尻十九郎 日本画

会期：平成29年3月7日(火)～6月30日(金)

[休館日：毎週月曜日(祝日は除く)、3/21、4/7、5/12、6/2]

会場：熊谷市立熊谷図書館 3階 郷土資料展示室

時間：午前9時～午後5時

主催：熊谷市立熊谷図書館

住所：熊谷市桜木町2-33-2

電話：048-525-9463



円良田の桜 新井信一 油彩画



夕方の桜 栗田多聞 油彩画



万平公園の桜 志邨武久 油彩画



中央公園のしだれ桜 高野輝子 水彩画



旧桜土手 原田二郎 油彩画